



かわらばん

創刊号

ごあいさつ

このたび、長年ご愛読いただきました、「のびのび」・「防災だより」を発展的に解消して、橋北地区の新たな情報紙を発刊することになりました。橋北地区の高齢者、子どもたちの役に立つ情報が発信できるように紙面づくりにつとめ、毎月月初めには発行する予定です。民生委員、児童委員からの情報、在宅介護支援センターの情報、地域の情報も加味して紙面を構成します。

にこにこサロン

社会福祉協議会の活動として、毎月、第一日曜日（原則）に橋北市民センター会議室で開催しています。話を聴いたり、お喋りしたり、ゲームをしたり、歌を歌ったりして、手作りのお昼ご飯を食べて楽しい時間を過ごしています。対象者は、概ね70歳以上の方で市民センターまで来てくれる人。料金は350円（昼食代）です。昼食は、地域のボランティアの方（ゆずの会・東福祉委員会・西福祉委員会・民生委員協議会）が作ってくれます。

参加ご希望の方は民生委員に尋ねてください。参加をお待ちしています。



●民生委員児童委員・主任児童委員

氏名	担当区域
※石崎 嘉代子	京町1～4・14～17
※森 洋子	京町5～13・18～25
古田 隆子	滝川町1～4・8～12・15・17～20
伊藤 裕一	滝川町5～7・13・14・16
山本 哲也	陶栄町
前嶋 比左子	川原町1・2・16～22・24・25・32～34
山中 光子	川原町3～15・23・26～31
服部 富子	浜一色町1～6・17・18
諸岡 逸子	浜一色町7～16
※野津 竹次	東新町1～3・14・21～23
高井 俊夫	東新町4～13・26・27
宇佐美 正二郎	東新町15～20・24・25
※木戸 壽美	新浜町1～10
林 市子	新浜町11～20
中平 小夜子	午起
山本 郁男	高浜町・高浜新町
塚脇 大仁	主任児童委員
※越野 雅代	主任児童委員

※印は新任委員です。よろしくお願いします。



今月の言葉


民生委員・児童委員

子育て支援、児童の健全育成に取り組み。ひとり暮らし高齢者や高齢者世帯への訪問、見守り。相談内容に応じたサービスについての情報提供、行政の窓口紹介。災害時の要援護者名簿を把握し、日常活動を通じ、災害に備えています。



こんにちは在宅介護支援センターです。

在宅介護支援センターとは市役所に変わる高齢者福祉の公的な相談窓口です。
橋北地区は総合会館3階にある四日市市中央在宅介護支援センターの原田が担当しています。
どうぞお気軽にご相談ください。

 **354-8324** (24時間対応。ただし夜間・休日は施設への転送になります)

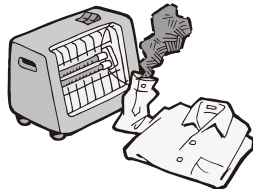


火の用心



防災だより

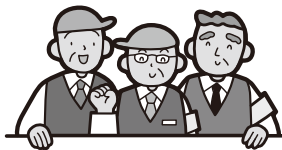
12月は空気も乾燥しています。
火のもとには、くれぐれもご注意ください。



交通安全

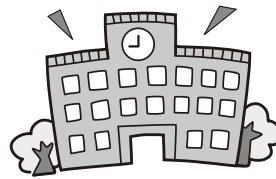


師走は何かと気ぜわしく、
交通事故も多い月です。道
を横断する際、特に車には
注意して
ください。



防犯だより

戸別訪問の物売りには、はっきり
と『いりません』と断るように
しましょう。



地域の 学校だより

橋北中学校では11月に認知症サポーター講座を四
日市市で初めて教職員と全校生徒が受講して、理解
を深めました。



慈善橋

明治中期までは、三重郡浜一色村の人々は三滝川を歩いて四日市の町に
行っていました。大雨などで三滝川が増水しているときは、迂回して東海道
の三滝橋を渡っていましたが、このような交通の不便さを解消するため、
橋の建設に必要な資金を得るために、林道永(1836-1911)は、四日市
の町を托鉢して回りました。橋は明治24(1891)年に完成し、慈善橋と名
付けられました。その後、川原町の慈善橋北詰には昭和7(1932)年に二・

七の市が、八幡町の慈善橋南詰には昭和8(1933)年に五・十の市が立ち、商業の場として栄えました。現在
は、二・七・五・十に慈善橋南詰めに市が立っています。

林道永は、浜一色町「天聖院」の現住職の曾祖父。

